

当該研究に関する概要

研究番号：JFMC-DB2020-04

研究課題名「Stagell、III 直腸癌に対する術後補助化学療法の進行度ステージ別の有効性に関する後ろ向き探索的な統合解析」

1. 研究の対象

2008年3月～2015年5月に下記の臨床試験に参加された患者さん

【対象となる研究】

JFMC35-C1(ACTS-RC)：術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験（治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討）

2. 研究目的・方法・研究期間

直腸癌の術後補助化学療法は結腸癌に準じて行われているが、直腸癌への術後補助化学療法単独の有効性に関する報告は非常に限られている。現在、術後補助化学療法の臨床試験では、手術単独の対照群をおくことは難しい。今回、本財団の直腸癌症例を含む4つの臨床試験を、傾向スコアで共変量調整し、手術単独群をヒストリカルコントロールデータとして活用することで、直腸癌の術後補助化学療法が、進行度ステージ別にどの程度上乗せ効果があるのかを検証する。

研究期間：2023年3月31日まで

3. 研究に用いる情報の種類

患者背景情報、病理学的情報、投与情報、追跡期間の情報

※研究に用いる情報は、どなたのものかわからない（匿名化された）データを使用しており、個人を特定できる情報は含まれません。

4. 研究組織

研究代表者：

がん集学的治療研究財団 DB事業支援委員会委員長 吉川 貴己

研究機関：

公益財団法人がん集学的治療研究財団

研究機関の長：

公益財団法人がん集学的治療研究財団 理事長 山岸 久一

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。
ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、患者さんの氏名等の個人情報明らかにしないようにしたうえで、学会発表や学術雑誌等で公表します。
なお、患者さんへの謝金はございません。

この研究についてわからない事や聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター

当院で研究責任者：消化管外科医長 杉山 雅彦

所在地：〒811-1395 福岡県福岡市南区野多目 3-1-1

電話番号：092-541-3231